

## 1. 目的

平成 25 年 3 月に策定した新たな愛媛県がん対策推進計画において、今後、重点的に取り組むべき課題として、住み慣れた家庭や地域で安心して療養できる「在宅医療の充実」や、療養生活で生じる不安を気兼ねなく相談できる「相談支援体制の整備」等を盛り込んだところである。

また、平成 25 年度までの事業を実施するなかで、先駆的な取り組みを行っている病院・診療所と地域医師会との連携体制の構築や、在宅患者の急変時の受け入れ病院との連携体制の構築、患者・家族の意向を尊重した在宅療養のコーディネーターができる人材の育成等の課題が明らかとなった。

このため地域医療再生計画に基づき、がん患者の在宅療養ニーズに応えるため、四国がんセンターが取り組む、患者・家族総合支援センターの機能強化に対して補助を行い、在宅医療を担う人材の育成や関係者のネットワーク化を進めるとともに、患者サロン事業の拡大や多職種協働による在宅緩和ケア体制の構築を図り、がんの分野における在宅医療提供体制の充実の側面から、在宅医療全体の充実強化を図る。

## 2. 補助対象

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター  
医療法人聖愛会（松山ベテル病院）  
NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会

## 3. 補助対象事業（事業内容）

がん医療の分野における患者・家族の在宅療養に関するニーズに応え、非がんも含めた在宅医療全体の推進に繋げるため、以下の事業を実施する。

### (1) 患者・家族総合支援センターの在宅医療支援機能の強化

患者・家族支援、医療者支援のために設置された患者・家族総合支援センターの医療連携・相談支援・研修機能の強化を図り、在宅医療を担う人材の育成や、関係者のネットワーク化、連絡調整のサポートを行う。

また、(2)、(3)の事業を実施するための関係者間の調整等を行う。

#### ○内容

- ・患者・家族支援：看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士等、専従職員の配置による相談、外見ケア支援、就労支援、チャイルドケア
- ・医療者支援：在宅緩和ケア推進のための人材育成、地域の医療介護福祉関係者の研修・交流の場の企画運営、行政・保健所等との協働体制の構築
- ・ケアマネージャー、在宅緩和ケアコーディネーター、訪問看護師向け研修の企画運営

#### 【患者・家族総合支援センターの概要】

- ・H25 年 6 月に開設（3 階建て総床面積 978.05 平米）。
- ・2 階にがん患者・家族が利用できる図書室、情報室、学習室、ラウンジ・サロンスペース等を設置。
- ・3 階に地域の医療福祉関係者のための地域医療研修室、ミーティング室、医療者用図書情報検索スペース等を設置。

### (2) 患者サロン事業の拡大

現在、東・中予地域で患者サロンが運営されているが、南予地域における相談支援体制の充実のため、ピアサポーターの養成に取り組む。

また、南予でがん患者サロンを設置することにより、患者・家族の療養の場所の選択にお

ける意思決定をサポートし、円滑な在宅療養への移行を図るとともに、孤立しがちな在宅患者・家族への支援を図る。

○実施地域：南予（大洲市での出張開催）

○内容

- ・大洲市において医療機関等のスペースを借用し、2月に1回程度ピアサポーターが出張して実施
- ・ピアサポーターの養成

### (3) 在宅緩和ケア体制構築事業の実施

八幡浜地域において在宅緩和ケア体制の構築を推進するとともに、他の地域においても指導者となる人材の育成に取り組むなど、在宅緩和ケアの提供体制の整備に取り組む地域の拡大を図る。

○実施地域

- ・在宅緩和ケア体制の構築：八幡浜地域
- ・指導者となる人材の育成：松山、今治、大洲地域

○内容

- ・八幡浜地域で八幡浜医師会との連携により、症例検討会の開催等を通じて在宅緩和ケアの連携体制の構築を支援する。
- ・松山、今治、大洲地域において、症例検討会の開催を通じて連携の中心となる指導者の育成を支援する。

## 4. 事業の実施体制

四国がんセンターと緩和ケアの分野で実績を持つ医療法人聖愛会（松山ベテル病院）やがん患者サロンの運営に実績を持つ患者団体（NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会）等が連携して実施する。